

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2	学年・学科	1学年(ABCE科)
教科書	実教出版「家庭基礎 気づく力 築く未来」		副教材	実教出版「家庭基礎 気づく力 築く未来 学習ノート」			

学習目標	<p>○人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につける。</p> <p>○様々な人と協力し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
学習方法	<p>○世の中の課題に目を向け、自分の考えを発表したり、周りの生徒と話し合いながら課題解決の方法を探ります。</p> <p>○基礎的・基本的な技術を身につけるため、実験実習を行います。</p>

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け							
			100%	50%	50%					
学習評価	a 知識・技能 (専門教科は知識・技術)	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	前期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%			
			中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%			
				主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%			
						100%	50%	50%		
			後期	b 思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	前期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
						中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%					0%	30%		
				100%	50%	50%				
	後期	c 主体的に学習に取り組む態度	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。	前期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%		
				中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%		
					主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%		
							100%	50%	50%	
後期				知識・技能(技術)	40%	30%	10%			
								思考・判断・表現	30%	20%
			30%	0%	30%					

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	第1章 これからの人生について考えてみよう	・ライフステージにおける発達段階について学ぶ	○	○	○	a. 生活を自分事にとらえ、主体的に営むための方法を理解することができた。実技の習得を目指し努力している。 b. 家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、その課題解決に向けての方法を考えようと努力することができた。 c. 周囲と協働し、課題解決に向けて主体的に授業に参加することができた。	・学習ノート ・課題の提出状況 ・定期考査
	第2章 自分らしい生き方と家族	・自立と共生について ・現代の家族について					
	第3章 子どもとかわる	・子どもの発達 ・子どもの生活習慣					
前期末	第4章 高齢者とかわる	・高齢社会に生きる私たちの暮らしについて	○	○	○	a. 生活を自分事にとらえ、主体的に営むための方法を理解することができた。実技の習得を目指し努力している。 b. 家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、その課題解決に向けての方法を考えようと努力することができた。 c. 周囲と協働し、課題解決に向けて主体的に授業に参加することができた。	・学習ノート ・課題の提出状況 ・定期考査
	第5章 社会とかわる	・高齢者を知り、これから増える認知症の高齢者との接し方について					
	第7章 衣生活をつくる	・衣服の素材から管理まで ・持続可能な衣生活をつくる					
後期中間	第8章 住生活をつくる	・住まいを計画する ・環境に配慮した快適な室内環境 ・安全な住まい	○	○	○	a. 生活を自分事にとらえ、主体的に営むための方法を理解することができた。実技の習得を目指し努力している。 b. 家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、その課題解決に向けての方法を考えようと努力することができた。 c. 周囲と協働し、課題解決に向けて主体的に授業に参加することができた。	・学習ノート ・課題の提出状況 ・定期考査
	第9章 消費行動を考える	・消費行動と意思決定 ・消費生活の現状と課題 ・消費者の権利と責任					
後期末	第6章 食生活をつくる	・食生活と栄養、食品のかかわりについて ・調理実習	○	○	○	a. 生活を自分事にとらえ、主体的に営むための方法を理解することができた。実技の習得を目指し努力している。 b. 家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、その課題解決に向けての方法を考えようと努力することができた。 c. 周囲と協働し、課題解決に向けて主体的に授業に参加することができた。	・学習ノート ・課題の提出状況 ・定期考査
	第10章 経済的に自立する	・暮らしと経済について					